◀与党案(上)と野党案(下)の新聞記事

◀東日本大震災チャリティーを兼ねた桜祭りでは、さまざまな日本文化が披露されました

デンマーク王国 DATA

人口554万人（≒北海道）、面積4.3万平方キロ（≒九州）、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具などのブランドは日本でも有名。

当会事務局職員が、2007年1月より在デンマーク日本大使館に出向しています。国際競争力や人々の幸福度で高い評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。

LETTER FROM COPENHAGEN

コペンハーゲン通信 2

PART Ⅲ

デンマークの社会保障制度改革の争点とは？

住田 智子
在デンマーク日本大使館二等書記官
（経済同友会事務局より出向中）

デンマークでは、日本同様に少子・高齢化などの問題、さらには北海油田からの税収が減ることが予想されていて、財政の健全化と社会保障制度の再構築について、与野党で激しい議論が交わされています。

まず、4月13日に与党から「改革パッケージ2020」が発表されました。中でも注目されたのが「早期退職者制度」の廃止です。デンマークの2020年の財政赤字予想は470億デンマーククローネ：DKK（約7,520億円）にのぼると算出されており、その3分の1以上を占める180億DKK（約2,880億円）の解消を社会保障制度の一部である「早期退職者制度」の段階的廃止で賄うというものです（その他は、財政回復パッケージという公共支出の改善案：240億DKK、学生奨学金改革：10億DKK、障害者年金改革：20億DKK、防衛予算削減：20億DKKで解消）。

「早期退職者制度」はもともと、主に身体を酷使する肉体労働者が身体を痛めてしまい働けなくなることを想定し、早期（通常の年金受給年齢65歳の5歳前）に退職しても年金が保障される、という制度でしたが、特に職業を限定していなかったため、多くの人が早期退職者制度を利用することになり、財政を圧迫しています。

「改革パッケージ2020」では、まず早期退職年齢を2014年から2017年にかけて5歳前から3歳前に段階的に短くし、通常年金受給年齢の引き上げを2019年から始め、2022年には67歳にすることにより、早期退職年齢を最終的に64歳まで引き上げます。

さらに現在40歳以下の人たちには早期退職者制度は適用されなくなります。しかしそうなると早期退職年金を支払っている意味がなくなるので、政府は来年度、“今まで納めてきた早期退職年金を希望により払い戻すことも可能である”としています。ただその財源をどうするのか、という点については議論されていません。また、現在40歳以上の人であっても、受け取る早期退職年金額がその他の収入や納付金額などによって減額されてしまうという案も含まれます。こうなってしまうと、早期退職年金を支払うインセンティブがなくなってしまい、不払いなどにより年金積立から得られる政府の財源が減ってしまう恐れがあり、年金の払い出しは減るものの、財源もなくなる、ということになりかねないとされています。国民がある程度の保障のために年金の積立を続けるのか、個々人で保障するという方向性にいくのか、どうなるのかは見えていません。

この「早期退職者制度」の廃止に反対している野党からは「フェア・ソリューション2020」という案が出されました。しかし、具体性に欠け、財政赤字を回復するのは難しいのではないかという各界からの指摘もあり、与党案での議論が進みそうです。日本とデンマークは、同じ問題を抱えています。お互いの制度改革を参考に、今後の改革に役立てるのも一考ではないでしょうか。

◆

ところで、5月7日、8日とコペンハーゲンのランゲリーニ公園で「Copenhagen Sakura Festival」が開催されました。今年は、コペンハーゲンの日本人会、コペンハーゲン市等が中心となり、大震災のためのチャリティー色を出しての開催でした。例年以上に盛況で、1万3,000人が集まり、和太鼓、獅子舞、弓道、剣道、餅つき等多くの日本文化に触れていただきました。私も茶道のデモンストレーションに参加させていただきました。多くの皆さまのおかげで、この桜祭りでは40万円以上の義援金が寄せられました。素晴らしいお天気と皆さまの心温まる支援に感謝！感謝！です。